

連載シリーズ 京都市内博物館施設連絡協議会（京博連）加盟施設紹介

第3回 京都市学校歴史博物館



正門は明治34年に建築された高麗門です。



正面が展示室入口で、右が事務所のある管理棟です

皆さん、京都市学校歴史博物館に行ったことはありますか？

場所は下京区御幸町通仏光寺下がる、開智学区（旧開智小学校）にあります。

ムム！？京都の中心部、町中に住んでいないと住所や学区名を聞いただけでは何処にあるのかわからない局長さんが多いのではないのでしょうか！

開智学区？

そう、今日は日本で初めて京都に明治2年に創設された「番組小学校」64校の一つ、旧開智小学校の跡地に開館した「京都市学校歴史博物館」（以下 学校歴史博物館と略します）を紹介したいと思います。

I COM（国際博物館会議）京都大会記念局「8J(N)3ICOM」を開局するために後援名義等使用許可をいただいた関連事業様は「I COM京都大会 2019 組織委員会」様ともう一つ「京博連（京都市内博物館施設連絡協議会）様の2箇所ありました。

今回はその一つ、京博連事務局（京都市教育委員会 生涯学習部）吉原係長様に、ここ学校歴史博物館 事業課 佐々木業務係長様をご紹介いただいて取材させていただくことが出来ましたのでご紹介します。

学校歴史博物館は、開館20年にあたる記念誌「二十年の彩り」の中に、

- ・「まちづくりは人づくりから」（上村淳之 館長）
- ・京都市学校歴史博物館は、
 - 「京都は我が国の近代学校教育の発祥地」
 - 「番組小学校はまちづくりを考える原点」
 - 「学校を支えた地域社会」

の3つの基本コンセプトのもと、1998年（平成10年）11月11日に開館した。
（在田正秀 京都市教育長）

と明確に開館にいたった経緯が書かれています。

私自身、実は昨年度 京都市が行った「明治150年 京都のキセキ・プロジェクト」でも取り上げた4大事業の中の一つに「番組小学校」があり、その縁もあってここ学校歴史博物館をはじめ旧番組小学校跡を訪問したり書籍等で調べたことがあります。

150年前、いかにしてこの番組小学校が作られたのかを知ることは本当に大事なことだと思い、案内していただいた佐々木係長様にも、是非、京都市内の公立小学校の児童さんには、小学校にいる間にはせめて一度はここに訪れて見学して欲しい、そんな課外学習のプログラムを教育委員会様に作ってもらいたい！と無理な(?)お願いまで出したほどです。

番組小学校創設150周年に当たる今年、5月19日よりいよいよこ学校歴史博物館様でも特別展が始まりました。

今年一杯行われる4回にわたる特別展ならびにそれに関連する講演やリレー講座があります。



150
1869-2019



京都市学校歴史博物館

平成31年4月23日

京都市学校歴史博物館
(担当：藤・佐々木)

広報資料

番組小学校創設150周年記念
京都市学校歴史博物館特別展
「番組小学校の軌跡—京都の復興と教育・学区— その1 始動」

下記のとおり、当館の特別展を開催いたしますので、お知らせします。

記

- 1. 開催期間** 5月10日(日)～7月29日(月)

(その後の予定) 展示替え実施予定

その2 休展：8月1日(水)～9月23日(月)

その3 休展：9月27日(金)～10月31日(木)

その4 休展：11月2日(土)～12月9日(月)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：水曜(祝日の場合は翌平日)、12月28日～1月4日
- 2. 会場** 京都市学校歴史博物館
京都市下京区御幸町通仏光寺下る梅町437 TEL:075-344-1305
- 3. 入館料** 大人200円、子ども(小・中・高)100円
20名以上の団体は大人160円、子ども80円
※京都府内の小・中学生は土・日は無料です。
- 4. 展示概要**
2019年は番組小学校創設150周年のメモリアルイヤーです。それを記念して当館では、これまでに収集、及び寄贈をいただいた、番組小学校に関する資料を大規模に紹介し、番組小学校の軌跡を詳細に描き出す、全4回の本特別展を開催します。

とくに本展においては、創立された全64の番組小学校1つずつに、出来る限り焦点を当て、収集した資料を1枚ごとに展示するスタイルで、番組小学校の歴史を振り返ります。「その1」となる今回の期間には、1869年、つまり明治元年の5月から7月の間に開校式を行った、13の学校にスポットライトを当て、その軌跡の「始動」の局面を生き生きと描きます。
- 5. 関連イベント**

(1) 対談・作業にあおう！『番組小学校をえがく①』
日時：6月15日(土) 午後2時～午後3時30分(予定)
対談者：荒木 誠(小説家、5月初旬に番組小を舞台とした新作を刊行)
和崎 光太郎(京都市立大学国際大学部講師、当館顧問)
会場：京都市学校歴史博物館3階講義室
定員：70名(要申込/先着順)

(2) 講演会・リレー講座「明治元年の京都 ①山崎」
日時：7月7日(日) 午後2時～午後3時30分(予定)
講師：藤本 幸(京都府京都市文化博物館)
会場：京都市学校歴史博物館3階講義室
定員：70名(要申込/先着順)

<受付> (1)(2)とも、希望されるイベント名、参加代表者氏名、代表者の電話番号、参加人数を明記のうえ、下記いずれかの方法により京都市学校歴史博物館へ申込
TEL：075-344-1305 (午前9時～午後5時、水曜日休館)
FAX：075-344-1327 (24時間受付)
○電子メール：rekihaku-jigyodoku.city.kyoto.jp(PCのみ可、携帯不可。)
※いずれも参加費無料(ただし入館料が必要)

6. 出品作品例



開校校写真図 明治10年頃



小検査証(下京三十三校)
明治4年



精貼日記(下京三十三番組小学校)
明治4年

報道機関への広報用画像の貸出し・取材等については、以下にお問い合わせください。
京都市学校歴史博物館(学芸担当 藤 潤平 / 事務係長 佐々木 秀希)
〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る梅町437
TEL:075-344-1305 / FAX:075-344-1327
http://kyo-zakurohaku.jp/
vs420-hayashi@edu.city.kyoto.jp (藤) / h-sasaki@edu.city.kyoto.jp (佐々木)

上：広報資料(特別展、関連イベント) 下：特別展 その1 始動 5月19日～7月29日パンフレット

番組小学校創設150周年記念 特別展



番組小学校の軌跡

—京都の復興と教育・学区—

その1 始動

2019年5月19日(日)～7月29日(月)

開催時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休 館 日：毎週水曜日(9日の場合には振替日)

入 館 料：大人200円 小・中・高100円

団体(20人以上)の場合は大人160円(小・中・高100円)

※京都市内の小学生は土・日無料(入館料)



京都市学校歴史博物館

(2) 講演会・リレー講座「明治元年の京都 ①山崎」
日時：7月7日(日) 午後2時～午後3時30分(予定)
講師：藤本 幸(京都府京都市文化博物館)
会場：京都市学校歴史博物館3階講義室
定員：70名(要申込/先着順)

<受付> (1)(2)とも、希望されるイベント名、参加代表者氏名、代表者の電話番号、参加人数を明記のうえ、下記いずれかの方法により京都市学校歴史博物館へ申込
TEL：075-344-1305 (午前9時～午後5時、水曜日休館)
FAX：075-344-1327 (24時間受付)
○電子メール：rekihaku-jigyodoku.city.kyoto.jp(PCのみ可、携帯不可。)
※いずれも参加費無料(ただし入館料が必要)

6. 出品作品例



開校校写真図 明治10年頃



小検査証(下京三十三校)
明治4年



精貼日記(下京三十三番組小学校)
明治4年

報道機関への広報用画像の貸出し・取材等については、以下にお問い合わせください。
京都市学校歴史博物館(学芸担当 藤 潤平 / 事務係長 佐々木 秀希)
〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る梅町437
TEL:075-344-1305 / FAX:075-344-1327
http://kyo-zakurohaku.jp/
vs420-hayashi@edu.city.kyoto.jp (藤) / h-sasaki@edu.city.kyoto.jp (佐々木)

例えば、

1・学区の呼び名の変遷 (明治2年) 番組 → 区 → 小学区 → 組 → (明治25年) 学区

2・学校

欧米で塙に囲まれている学校を見ることはないが、

「学」＝「農作物の収納倉^{しのぐら}」を意味し、部族の長の所有物に関する大切な場を指したことば

「校」＝大将や幕僚のいる陣営のしきりという意味のことば

よって、「学」、「校」両者とも自由に入ることの出来ない領域の意味を元々持っていて、明治以降の多くの日本の学校に塙が設けられていった背景には、学校に対する日本人の意識があった。

3・修学旅行

政府が師範学校を軍隊のような組織にするため、「行軍」を取り入れたことに起源を持つ。

これに対して師範学校は極端に軍隊のようにするのはよくないと考え、移動の中に勉強(修学)の一面を導入することにした。こうして成立した「修学」するための「旅行」は、交通機関の発展にもよって少しずつ小学校にも広がった。

4・番組小学校で学ぶ科目は4つ

句読(手本通りに読む)

語誦(暗記してそれを口で述べること)

習字

算術

5・精勤日直

毎月1日と15日が休み

復習の日が月に4日

試験の日が月に1日

試験に合格しなければ進級出来ない、授業料が必要だった(小学校経営の重要な収入源だった)など、役にたつ資料が豊富に展示されています。



3F廊下にあるモニターTVコーナー

パンフレットの館内(展示室)案内図

学校歴史博物館所蔵品はインターネットのHP (<http://kyo-gakurehaku.jp/>) に大変詳しく紹介されています。また優れた美術品も多数所蔵され、展示もされています。



会場は3F 講演室にて 黒板の前にスライドを映すスクリーンを挟んで対談者の席が設けられていました

休憩を挟むことなくそのまま和崎氏が用意した7つの質問（実際には飛入りで1つ増え8つになりました）に応える形で対談が始まりました。

荒木氏が書かれた「御苑に近き学び舎に」は恐らく番組小学校を題材にした初めての小説であり、番組小学校でも最も資料の少ない（無いといってもよい）京極小のことを扱うことの苦労談や、逆に想像（フィクション）でありながら、書かれたことを否定出来ない小説家ならではの推理を集めて書かれた文章に面白さが出ている、と和崎氏は絶賛されています。

ちなみに、完成した原稿を荒木氏から和崎氏に送った時、和崎氏が感想を述べられた返信メールがそのまま書籍の「帯」になったという逸話もお聞きすることができました。

原稿を書く中での新しい発見や64校あった番組小学校の中で上京第28番組と29番組が一緒になって最後の最後、12月21日に開校した理由がやはり資金的なことが最も大きかったことなどが想像され、天皇が京都から去られた後をいかに復興させるかが優先された結果の小学校建設だったことがわかります。

当時子供と言えども貴重な労働力であり、授業料の掛かる小学校に通えたのは僅か2割程度しかありませんでした。おまけに子供のいない家庭にまで町内の全ての家には竈金（かまどきん）という学校を運営するための資金が徴収されたのです。

京極の住人にとっては、建設は「とんでもないものを押し付けて来た！」という気持ちだったでしょう。でも「しょうがない！」

京都が都でなくなるということは、新しいことをしないと将来がない！という危機感を強く持つことになったのです。

京都府からの小学校建設の設計図には、行政の出先機関を兼ねた支所や警察の分署なども入り、子供たちに学問を教える場だけではなく、地域のコミュニティーの場としての機能もあったことが今日まで強く各学区の集まりの場として残っている名残りです。

尚、荒木氏の書かれた本「御苑に近き学び舎に」という題名は京極小学校の校歌の中にある歌詞から取って付けられた名前だそうです。

最後に、これからの学校教育における考えなどをお聞きして、定刻の午後3時30分にお開きとなりました。

今も京都の街には「学区」が強く生活に密着して息づいています。

ただ、京都市が行った平成28年度自治会・町内会アンケートの報告書によりますと、自治会・町内会の加入率が京都市全体で76.1%で、一番加入率の高いのが中京区の80%であり、逆に低いのが西京区（本所管内）が42%、（洛西管内）が65%、伏見区（醍醐支所管内）が65%などと下がってきている傾向にあり、徐々にではありますが《近所付き合い》が薄れてきていることに不安を持つのは私だけでしょうか？

取材協力：京都市学校歴史博物館様

編集部より：この紹介記事につきましては、発表前に佐々木業務係長様始め学芸員様にも速報を入れた事によって二度も目を通していただき、表現のおかしい所や修正すべき点を的確にご指摘戴きました。改めまして御礼申し上げます。